

「楽しみにしてる」の声で 実る夫婦の努力

私たちの 農ライフ

浜松市浜名区細江町三和
野末明弘さん(64)
淳子さん(63)

野末明弘さんと淳子さん夫妻は極早生、早生、青島ミカンなどを栽培しています。

高校時代に出会った2人は昭和58年に結婚し、3人の娘に恵まれました。外仕事をするのが好きだった淳子さんは、15年ほど前から明弘さんのお父さんが手掛けるミカンの栽培を手伝い始めました。明弘さんは一昨年の退職を機に本格的に栽培をスタートし、現在は3人で農作業に励んでいます。

「作るならおいしいミカンを」と話す野末さん夫妻。土壌や天候を考慮して試行錯誤した結果、部分マルチ栽培を導入して糖度の高いミカンができるようになりました。「毎年同じ物ができるしないからこそ来年もがんばろうという気持ちになる」と話す2人の研究熱心さがおいしさの秘密です。その

努力が実を結び、令和5年度優秀出荷者表彰で1位に輝きました。「代替わりした後、自分たちのミカンでもう一度賞をもらいたい」と2人は微笑み合います。

また、年に数回の旅行を楽しみにしているという2人。かつて、バレーボール部に所属していた娘たちの応援で各地を回ったとき、観光も楽しんでいたことが旅行好きのきっかけだと振り返ります。

明弘さんが「健康に気を付けてこれからもがんばろう」と声を掛けると、淳子さんは「外仕事は大変だけど一緒に乗り越えていきましょう」と笑顔で応えます。「楽しみに待ってくれる人の声がさらなる励みになる」と話す2人はこれからも多くの人においしいミカンを届けてくれることでしょう。

